

SHIKISHIMA

AREA

GRAND DESIGN

敷島エリア
グランドデザイン

群馬県・前橋市

概要版



基本構想

敷島ウェルパークにむけて
敷島公園を訪れるすべての人々の
健やかな体験と時間を約束する場とし、
持続可能な地域の魅力を創造します。

将来像

自然風景と行き交う人々の日常を感じながら歩く、
訪れるだけで誰もが元気になる場

コンセプト

公園の概念を超えた超公園

SHIKISHIMA
WELL-PARK

敷島ウェルパーク

まちのウェルネス拠点、敷島ウェルパーク。
自然を感じ、生活者を感じ、
今を生きることに感謝できる場所。
訪れる全ての人々の健やかな
体験と時間を約束する、
世代を超えて愛される暮らしと公園が
優しくつながる新たなまちづくり。

訪れるだけで、こころが
満たされワクワクする
環境デザイン

誰かと出会い
対話が生まれる
交流拠点機能

世代を超えた
共感共鳴を生み出す
感動体験の創出



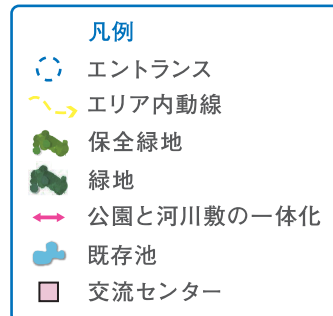
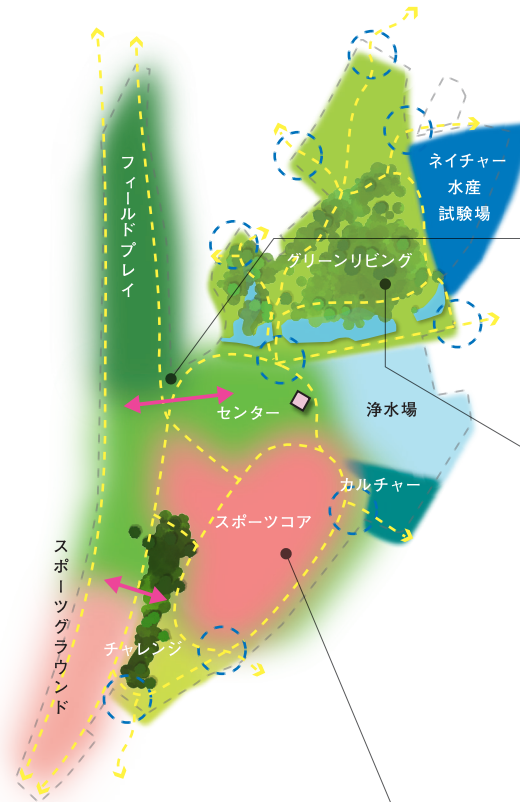
歴史と伝統に培われた自然豊かな敷島公園で、
園内の各種施設を結びつけ、にぎわいと
健やかな体験、世代を超えたコミュニケーションが
生まれる新しい交流拠点を構築します。
誰にもひらかれ、こころも体も満たされ、
多様な幸せと慈しむ心を感じられる場。新しい時代の
豊かさの象徴として、地域への愛着や誇りを育み、次の世代に
継承し、進化し続けることを願い、ここに憲章を定めます。

- 1 訪れる人が地域とつながる
スポーツと交流の場をつくる
公園を訪れる多様な人々が、
地域の自然や文化に触れ、
世代を超えた交流が生まれる
拠点を包括的に育てていきます。
- 2 こころも身体も元気になれる
ひらかれた共創の場をつくる
誰ひとり取り残されることなく、
心身共に健康になれる場を
多様な立場の人々と共に
生み出していきます。
- 3 地域への愛着や誇りを育み
暮らしの価値向上をめざす
地域を思い、主体的に参加する
ことで、愛着や誇りが生まれ、
活力あふれるまちの暮らしや、
新しい価値が形成されていきます。
- 4 利根川に接し、赤城、榛名を望む
敷島の風致を次の世代に継承する
先代から受け継いだ、利根川の
松林や雄大な山々の景観を守り、
次の世代へと大切に受け継いで
いきます。
- 5 いのちの源として緑と水源を
慈しみ未来へ持続させていく
古くから地域の資産である
いのちの源を慈しみ、
美しい水と緑の豊かな自然を
次世代へと継承します。
- 6 環境を活かし潤いにつつまれた
まちのシンボルを育む
豊かな自然環境に恵まれた
スポーツの聖地は、世代を超えた
まちのシンボルとして長く
愛されています。

デザインガイド | マスターデザイン

- ・「スポーツ施設の再配置等」による
オープンスペースの確保と交流の場の創出
- ・回遊動線確保による「エリアの一体性強化」
- ・敷島固有の「環境の継承」と
「シンボルの魅力向上」

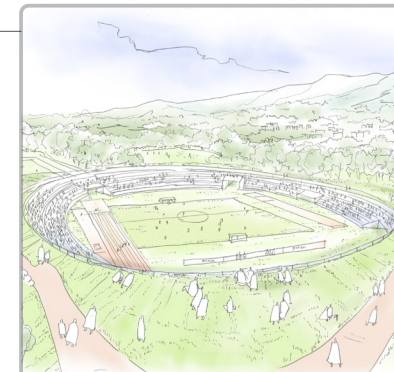
	ゾーン	概要
多目的緑地	グリーンリビング	松林や水辺等、子どもから大人までゆっくり過ごせるエリア
	センター	多様な人々が自由な活動や交流を深める出会いの場としてのオープンスペースや公共交通の結節点【GunMaaSのモビリティハブ】として、公園の核を担うエリア
	チャレンジ	市民や地元企業が中心となって新しいチャレンジができるエリア
	フィールドプレイ	キャンプをはじめとするアウトドア等、誰もが屋外でのびのびとアクティブな遊びができるエリア
競技施設	スポーツコア	スポーツの機能を維持しながら、スポーツ施設の再配置等を行う、スポーツの機能(聖地)を継承するエリア
	スポーツグラウンド	河川敷を有効活用し、スポーツ機能を配置すると共に、市民が気軽にスポーツを楽しめるエリア
浄水場	カルチャー	国指定登録有形文化財の旧配水塔の魅力を発信するなど、歴史・文化遺産を保全・継承、体感できるエリア
試験場	水産 ネイチャー	群馬県の水産(主に川魚)に加え、生態系、生物多様性及び環境問題等を研究・発信するエリア



園路等により
河川敷と公園の
一体化と
回遊性の向上



敷島の自然を
活かした活動
(松林)



競技場周辺に
オープン
スペースと
賑わいを創出

デザイン
コード

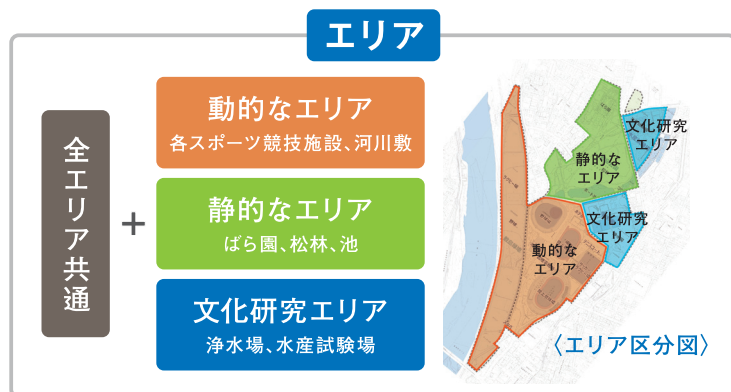
訪れる人が利用・活動したくなる機能を重視した他に類を見ない敷島独自の「不変の方針」としてデザインコードを規定

人を中心とし「アクセシビリティ」「回遊性」「多機能性」「コミュニティ」等の観点を重視

デザイン
ルール

不変の方針であるデザインコードに基づき、社会情勢等の変化に適應して変更可能なものとしてデザインルールを規定

デザインコードは、以下の3つのエリアと3つの分野で分類



デザインコード、デザインルールの一部抜粋
【全エリア共通ー建築】

【建築】デザインコード

アクセシビリティ

多様な人々が利用できるようにする。

安全性

防災面、防犯面で安心安全に使用できるようにする。

環境効率

環境に配慮し、エネルギー効率の優れたものにする。

デザインルール

- ユニバーサルデザインに基づき、多様な人々が利用しやすいものとする。
- 施設の正面入口は園路から容易にアクセス可能な位置とする。
- 電源確保(自家発電、太陽光、蓄電池など)・食料備蓄など災害時の備えを行う。
- 耐震性能を満たす施設を設置し、災害時(洪水時は除く)は避難所として利用可能なものとする。
- 災害時の飲料水について、備蓄分を超えると想定される場合は、浄水場と連携を図る。
- 利用者の動線から見通しが確保された施設構造とする。
- 防犯性能に優れた施設設計を行う。
- 資材は地域資源を可能な限り活用する。
- 自然エネルギーの利活用が可能な施設とする。
- 雨水を有効に活用する。
- 整備時点で求められる最先端の省エネルギー性能を備える。
- 半屋外空間を設け、エネルギー効率に配慮する。